

桑野造船株式会社

〒520-0243 大津市堅田 1-21-2 TEL:077-573-8001 FAX:077-573-8002

URL: http://www.k-boat.co.jp E-mail: kuwano@k-boat.co.jp

第2号の Boat Times をお送りします。競技用ボート造りも一般的な工業製品と同様に地球規模で製造分担が生まれつつあります。つまり、高級レース艇はヨーロッパ、普及艇は中国で作ることが多くなっています。では、日本国内のボートメーカー桑野造船が果たすべき役割は何なのか。このテーマに真剣に取り組んでいるところです。単なる規格艇製造メーカーに終わるつもりはありません。右の会社目標は「外国艇には負けない」との従業員一同の意気込みを表しています。

## 桑野造船 会社目標

この1年、下の目標を掲げ頑張ってください！

確かな技術と情熱でヨーロッパ艇に挑戦！！  
お客様にとって、なくてはならない桑野になるために

- \* すぐやる 必ずやる できるまでやる
- \* 顧客側にたった徹底したサービス
- \* 感性を豊かに (夢・感動・新感覚)

## FISA 型艇とは

規格艇規格変更に伴い、1×と2×ではFISA型を用いることになりました。ところで、FISA型とはどういうものなのでしょうか？

FISA(国際ボート連盟)は軽量級種目を普及して世界に一層ボート競技を広める目的があります。ヨーロッパやその他一部の国々で行われていないボート競技のままでは、オリンピック種目からも外されてしまう恐れがあるからです。

そこで比較的小柄なヨーロッパ以外の民族にも使いやすくするために軽量級選手専用の艇開発が計画され、設計者には当時 FISA の技術担当役員であった Mr.Klaus があたりました。その時デザインされた艇型が FISA 型です。彼は昨秋の FISA フォーラムに於いて特別賞を受けました。

桑野造船ではこの同じ艇型を使い、高級八ニカム艇(65万円)...規格艇(53万円)...普及艇(38万円)...トレーニング艇(23万円)を製造しています。各モデルの違いは材料と工法により艇重量と価格が異なることだけです。艇剛性や漕いだときのフィーリングが同じであることが桑野のセールスポイントです。

### 桑野ボート モデル一覧

	モデル	艇体構造仕様	艇重量(kg)
高級レース艇	A1	炭素繊維・アラミド繊維 / 八ニカム構造	13.8 ± 0.2
	A2	炭素繊維・ガラス繊維 / 八ニカム構造	14.0 ± 0.2
規格艇	E	炭素繊維・アラミド繊維 / 発泡体構造	15.5 ± 0.5
普及～レース艇	D	ガラス繊維(一部炭素繊維) / 中国製八ニカム構造	16.0 ± 0.5
普及艇	B	炭素繊維 / マット構造	17.0 ± 0.5
トレーニング艇	C	ガラス繊維 FRP 単板 + キール取付 単板構造	18.5 ± 0.5

## カーボンオールの扱いについての誤解

炭素繊維強化プラスチック(CFRP)製オールが現在の日本では100%です。昔の木製オールの習慣のままカーボンオールを扱って多くのトラブルが発生しています。

CFRP オールは文字どおり炭素繊維と樹脂からできています。また近年ではプリプレグという高級素材が中心となりました。この素材は軽量で高強度なのでオールの軸部(シャフト)は極めて薄く、2~3mm 程度の肉厚さで出来ています。さらに炭素繊維の特性から単純な引っ張り強度は驚異的に強いのですが、もろくてかつ横方向の強度は皆無と言えるほど弱いのです。カーボンオールはブレードを水中に固定した支点とクラッチの作用点、さらにハンドルの力点という“この原理”以外の方向から力がかかると極めて弱いと言うことが特質です。たとえば艇離着岸の折に船台にシャフトをぶつければ簡単に折れます。また、足で踏みつけば割れます。従ってシャフトには絶対に外力がかからないように扱ったり、輸送しないといけません。よく、木製オールと同じようにブレードを包んでシャフト部をむき出しのまま輸送しているのを見かけますが危険です。ブレードは踏んでも割れません。シャフトを保護して輸送してください。ここが木製オールとは逆なのです。しかし、ポルテックス・エッジのついたブレードではエッジが生命ですから、やはりブレードも包む必要があります。不幸にして割れたシャフトのオールが出た場合は工場での修理は可能ですからご相談下さい。レース用には無理でも練習用としては充分使えるように修理できます。

一般的に言えば、太いオールでは軽くてシャフトのフロート効果により艇バランスが良いことがあり、どちらかと言えば初心者に合っていますが、強度が低いことが難点です。逆に細いオールはネック部のネガティブワークや空気抵抗の減少が期待できますが少し重くて高価です。桑野では現在、来春発売を目標に世界初の超小径化オールを開発中です。逆風の中のレースでハイ・レートで漕ぎ進む姿をイメージしてご期待下さい。



桑野製オールカバー

BOAT TIMES の配信停止をご希望される方は、お手数ですが FAX (077-573-8002)又は E-Mail (kuwano@k-boat.co.jp) で当社までご連絡下さい。また、ご意見・ご感想などもお待ちしております。

お手数ですがボート部関係者へお渡しをお願いいたします。